

□一般講演 (General presentations)

各発表の持ち時間：15 分（発表時間 12 分＋質疑 3 分）

Each presentation: 15min (Presentation 12min + Discussion 3min)

◎：優秀発表賞対象者 Candidate for Excellent Presentation Award

A-1 10:30-12:00 30th of November

土木構造物 Civil structures

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-1-1	T2021-028	ニールセンローゼ橋の張力推定手法の提案 (その 1：面外方向と面内方向の推定手法)	◎山田哲 (京都大学大学院工学研究科)
A-1-2	T2021-030	ニールセンローゼ橋の張力推定手法の提案 (その 2：回転ばねの導入と実橋による検証)	◎高鶴憲正 (京都大学大学院工学研究科)
A-1-3	T2021-041	高強度 PC 鋼棒をせん断補強鉄筋とする RC 梁の鉄筋配置間隔拡大に関する研究	佐々木智大 (大林組技術研究所)
A-1-4	T2021-075	RC 柱構造における復旧時セルフセンタリン グ機構実現に向けた解析的検討	◎白井洵 (京都大学大学院工学研究科)
A-1-5	T2021-077	トラス構造の危機耐性構造計画における力学 的骨格の選定	◎野村一貴 (京都大学大学院工学研究科)

A-2 13:00-15:00 30th of November

土木構造物，杭および基礎構造，免震・制振・ヘルスマニタリング Civil structures, Pile and foundation, Base isolation/structural control/health monitoring

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-2-1	T2021-060	地震時慣性力を想定した乾燥砂地盤上直接基礎橋脚の水平載荷実験（載荷高さが基礎幅の2倍の場合）	◎川田草貴(中央大学理工学研究科 都市人間環境学専攻)
A-2-2	T2021-087	根入れ式基礎の基礎拡張に伴う鉛直地盤反力係数の評価手法	◎津田葉涼太(京都大学大学院工学研究科)
A-2-3	T2021-031	無筋コンクリート橋脚の数値解析と振動台実験による地震時破壊メカニズム分析	◎川松裕汰(京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻)
A-2-4	T2021-086	橋脚高および鉛プラグ入り積層ゴム支承の経年劣化が免震橋の地震時損傷モードに及ぼす影響に関する基礎的検討	松崎裕(防衛大学校)
A-2-5	T2021-092	水平2方向入力地震動に対する橋梁の震動制御に関する研究	長谷川樹(京都大学大学院工学研究科)
A-2-6	T2021-059	高減衰ゴム支承の Mullins 効果と温度依存性を考慮した復元力モデルの開発	◎談雨晴(京都大学大学院工学研究科)

A-3 15:10-17:10 30th of November

土木構造物，ライフライン，耐震補強，地盤と構造物の相互作用 Civil structures, Lifeline, Retrofitting/strengthening, Soil-structure interaction

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-3-1	T2021-070	2016 年熊本地震によって被災した道路構造物の被害判別	◎近藤陸(筑波大学大学院)
A-3-2	T2021-080	地表断層変位の作用を受ける通信用橋梁添架管路の被災メカニズムの考察	◎松本拓郎(筑波大学大学院構造エネルギー工学学位プログラム)
A-3-3	T2021-039	高速道路曲線部における車群の地震時挙動について	◎津田将輝(京都大学大学院工学研究科)
A-3-4	T2021-043	砕石中詰め材の大きさと石橋の耐震性に関する基礎的研究	◎東祐輔(京都大学大学院工学研究科)
A-3-5	T2021-029	改良版個別要素法による鋼板接着補強組積橋脚の破壊挙動の数値解析	◎山木誠也(京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻)
A-3-6	T2021-026	GPU を使った有限要素法による 3 次元動的液状化解析の高速化	◎日下部亮太(東京大学)

A-4 10:00-12:00 1st of December

English session: Ground motion, Underground profile

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-4-1	T2021-017	Algorithm for generating elastic and constant ductility response spectral compatible artificial accelerograms using equivalent linear displacement spectrum	© Jian Zhou (Kyoto University)
A-4-2	T2021-036	FEATURES OF STRONG GROUND MOTIONS FROM THE 2019 Mw 6.2 HYUGANADA EARTHQUAKE	Yadab P. Dhakal (NIED)
A-4-3	T2021-046	A NEW APPROACH FOR DIRECTLY OBTAINING HORIZONTAL SITE AMPLIFICATION FACTORS BASED ON SIMILARITY OF EHVSRS	© Ziqian WANG (Kyoto University)
A-4-4	T2021-048	ESTIMATION OF ATTENUATION EQUATION ON ABSOLUTE VELOCITY RESPONSE IN BANGKOK	© LI XIHAN (Kyoto University)
A-4-5	T2021-032	RELATIONSHIPS BETWEEN CHARACTERISTICS OF HORIZONTAL-TO-VERTICAL SPECTRAL RATIOS OF MICROTREMORS AND BASIN GEOMETRY AT THE EASTERN EDGE OF KYOTO BASIN	Zhiwei LIU (Graduate School of Engineering, Kyoto University)

A-5 13:40-15:40 1st of December

English session: Ground motion, Buildings and houses, Base isolation/structural control/health monitoring

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
A-5-1	T2021-096	THREE-DIMENSIONAL FINITE DIFFERENCE GROUND MOTION SIMULATION OF THE BANGKOK BASIN	© Bidhya SUBEDI (Kyoto University)
A-5-2	T2021-037	MODELING OF BANGKOK BASIN FOR SEISMIC RESPONSE ANALYSIS	© Suheng LI (京都大学工学研究科都市社会工学専攻)
A-5-3	T2021-021	VARIATION OF EFFECTS ON SEISMIC RESPONSE OF RC STRUCTURES CAUSED BY VERTICAL IRREGULARITIES DUE TO UNREINFORCED MASONRY (URM) INFILL PANELS	© Md Khairul HASAN (Former graduate student, Architecture, The University of Tokyo)
A-5-4	T2021-018	DATA-DRIVEN MODELING OF DAMPING SYSTEMS USING TWO-STAGE REGRESSION	© Jia GUO (東北大学災害科学国際研究所)

B-1 10:30-12:00 30th of November

震源特性 Focal mechanism

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-1-1	T2021-005	内陸地震の短周期レベルのスケーリング則の検討	藤堂正喜 (大崎総合研究所)
B-1-2	T2021-006	断層モデルを用いた地震基盤面における地震動のばらつきの検討	儘田豊 (原子力規制庁長官官房技術基盤グループ)
B-1-3	T2021-093	経験的グリーン関数法によって推定した 2019 年リッジレスト地震の強震動生成域モデル	染井一寛 (一般財団法人地域地盤環境研究所)
B-1-4	T2021-016	震源特性の不確実性が長周期地震動に与える影響	◎西本昌 (大成建設 (株) 技術センター)
B-1-5	T2021-020	地震波振幅を用いた震源域のリアルタイム把握に向けた検討	小木曾仁 (気象庁気象研究所)
B-1-6	T2021-050	震源シナリオ推定のための高詳細三次元地殻構造モデルとスパース性を用いた地震時すべり分布逆解析手法の検討	◎村上颯太 (東京大学地震研究所)

B-2 13:00-15:00 30th of November

地盤震動 (1) Ground motion (1)

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-2-1	T2021-042	スペクトル分離手法で求めた KiK-net 観測記録の地表および地中のサイト増幅率について	川瀬博 (京都大学防災研究所)
B-2-2	T2021-003	経験的に得られたフーリエ振幅経時特性モデルに基づく大阪湾周辺を対象にした南海トラフ地震動の推定	◎仲野 健一 (安藤ハザマ)
B-2-3	T2021-098	離散直交基底 S 変換のランダム位相スペクトログラムによる模擬地震動生成の妥当性の検討	◎小山裕輝 (慶應義塾大学大学院理工学研究科)
B-2-4	T2021-010	機械学習による地震動評価モデルの構築の試行 ―火山フロントと破壊伝播効果の影響に関する特徴量の検討―	◎小穴温子 (清水建設)
B-2-5	T2021-012	地震動評価式に基づく特徴量を考慮した機械学習の可能性に関する試検討	石井透 (清水建設株式会社 技術研究所)
B-2-6	T2021-085	浅部地盤と深部地盤の分離解析の問題点を示すわかりやすい事例	野津厚 (港湾空港技術研究所)

B-3 15:10-17:10 30th of November

地盤震動 (2) Ground motion (2)

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-3-1	T2021-035	富岳を用いた大規模地震動計算に向けた Verification —地形または盆地を伴う構造でのベンチマークテスト—	◎小林広明 (小堀鐸二研究所)
B-3-2	T2021-072	KiK-net 観測点における PSI 値の地盤増幅度と地震規模の関係	西川隼人 (福井工業大学)
B-3-3	T2021-009	海溝型巨大地震におけるリアルタイム震度の立ち上がりに関する考察	◎久保久彦 (防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター)
B-3-4	T2021-079	寒冷地における重錘落下加振データと地震データから分析した地盤震動特性の季節変動	津野靖士 (鉄道技術総合研究所)
B-3-5	T2021-034	2019 年東日本台風通過時における関東周辺 F-net 観測点の脈動変化	植竹富一 (東京電力ホールディングス)
B-3-6	T2021-045	強震動データベース試作版と地震動予測式に基づくサイト係数導出	森川信之 (防災科学技術研究所)
B-3-7	T2021-051	表層地盤の非線形性が震度に及ぼす影響—逐次非線形解析による震度増分の検討と既往研究との比較—	渡辺哲史 (小堀鐸二研究所)

B-4 10:00-12:00 1st of December

地盤震動, 地下構造 Ground motion, Underground profile

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-4-1	T2021-066	地震観測記録を用いた硬質岩盤観測点での地盤構造同定	長嶋史明 (京都大学防災研究所)
B-4-2	T2021-076	地震動の水平上下スペクトル比から直接S波のサイト特性を推定する手法の提案	◎伊藤恵理 (京都大学防災研究所)
B-4-3	T2021-074	地すべり地域ー鳥取市佐治地区ーにおける微動および地震観測に基づく地盤構造推定	野口竜也 (鳥取大学)
B-4-4	T2021-022	浅部を対象とした微動アレイ探査と地表/地中スペクトル比の逆解析による KiK-net 観測点における S 波速度構造モデルの高精度化	三浦弘之 (広島大学)
B-4-5	T2021-055	レイリー波位相速度と見かけ比抵抗の同時逆解析による熊本市万日山周辺の表層地盤モデルの推定	山中浩明 (東京工業大学環境・社会理工学院)
B-4-6	T2021-065	微動観測に基づく吉岡断層ごく近傍の地盤構造推定及び地盤震動特性の把握	◎西村武 (鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻)
B-4-7	T2021-078	常時微動を用いた邑知潟平野の地盤構造推定	◎中山智貴 (京都大学大学院工学研究科)
B-4-8	T2021-084	グリーン関数虚部を用いた理論 H/V スペクトル計算式の定式化手順の再考	成田修英 (戸田建設)

B-5 13:40-15:40 1st of December

地盤震動, 地盤の液状化・斜面崩壊 Ground motion, Liquefaction/landslide

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
B-5-1	T2021-088	高速な3次元地盤震動解析手法の開発と地盤歪推定への適用	◎藤田 航平 (東京大学地震研究所)
B-5-2	T2021-090	データ駆動型手法とGPUを用いた3次元波動伝播シミュレーションの高速化	◎菊地 由真 (東京大学地震研究所/工学系研究科社会基盤学専攻)
B-5-3	T2021-068	谷底低地における腐植土のせん断弾性係数の違いが地震応答に与える影響	◎松橋求 (東京電機大学大学院理工学研究科 建築・都市環境学専攻 地盤防災・環境工学研究室)
B-5-4	T2021-013	北海道胆振東部地震の崩壊斜面地盤材料を用いた斜面の振動台実験	◎高倉太希 (防衛大学校理工学研究科地球環境科学専攻)
B-5-5	T2021-056	埋立地に立地する製造事業所の地震観測強化に向けた検討	山田岳峰 (鹿島建設)
B-5-6	T2021-097	再構成試料を用いた非排水繰返し三軸試験による火山灰地盤の液状化評価	◎小野寺智哉 (東京大学大学院工学系研究科)

C-1 10:30-12:00 30th of November

防災計画・リスクマネジメントおよび社会・経済問題 Disaster mitigation plan/risk management/socio-economic issues

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-1-1	T2021-024	地震ハザードステーション J-SHIS における地図表示機能の改修	河合伸一 (防災科学技術研究所)
C-1-2	T2021-054	東日本大震災の被害実態に基づく南海トラフ巨大地震の地震動・津波による経済被害推計の試み	清水智 (防災科学技術研究所 / 応用アール・エム・エス株式会社)
C-1-3	T2021-069	被災者の存在位置・ニーズ把握ツールの適用可能地域に関する分析—大規模地震災害時を想定した検討—	◎森崎裕磨 (金沢大学大学院)
C-1-4	T2021-081	災害ボランティアセンター作業管理データから推測する被災地での片付け作業における人的不足量把握の試み	水井良暢 (防災科学技術研究所)
C-1-5	T2021-094	地下街における来街者数と階段歩行速度が避難時間に与える影響-マルチエージェントシミュレーションを用いて-	◎本井響貴 (大阪工業大学大学院工学研究科 建築・都市デザイン工学専攻)

C-2 13:00-15:00 30th of November

建築構造物 Buildings and houses

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-2-1	T2021-083	実大実験を通じた加速度計による ALC 外壁の挙動の把握に関する検討	◎八木尚太郎 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科)
C-2-2	T2021-011	UAV を活用した振動台実験の光学的動変位計測	◎毎田悠承 (東京工業大学)
C-2-3	T2021-044	5 階建て鉄筋コンクリート造建物の震動台実験における ALC 非構造壁の挙動検証	◎田附遼太 (長谷工コーポレーション技術研究所)
C-2-4	T2021-057	接着系あと施工アンカーの引張、せん断試験時の載荷速度が試験結果に与える影響	◎上村昌平 (一般財団法人 建材試験センター 性能評価本部)
C-2-5	T2021-058	1995 年兵庫県南部地震で被災した鉄筋コンクリート造共同住宅の柱梁接合部の破壊要因	◎柏木大知 (東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻)
C-2-6	T2021-015	大規模非線形 FEM 解析を用いた RC 構造物の設計合理化に向けた基礎研究	◎水越一晃 (株式会社大林組 技術研究所)
C-2-7	T2021-008	変形抑制された中層鋼構造建築物の大地震時の床加速度に関する検討	岩田善裕 (国立研究開発法人建築研究所)
C-2-8	T2021-063	最下層に柱脚を有する鋼構造梁降伏型剛接骨組の損傷集中特性 (その 2) 中層建物第 1 層の損傷集中率, 基本累積比および損傷集中指数	Yoshinobu Yanagita (Asunaro Aoki Construction Co., Ltd. Research Institute)

C-3 15:10-17:10 30th of November

建築構造物, 緊急速報・災害情報 Buildings and houses, Early warning/disaster information

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-3-1	T2021-023	日本のシェル・空間構造の減衰研究の現状	新宮清志 (日本大学/総合資格学院)
C-3-2	T2021-040	各種建築物の実測減衰データベースとその傾向分析	佐武直紀 (構造品質保証研究所)
C-3-3	T2021-049	耐震設計用の S 造および R C 造一般建物の初期減衰定数	中村尚弘 (広島大学)
C-3-4	T2021-047	スウェイばねの偏心による多層建築物の地震時ねじれ応答に関する一考察	石原直 (国土技術政策総合研究所)
C-3-5	T2021-062	第二層に 2 つの質点を持つ二層構造物の Ai 算出法	◎石川大輔 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)
C-3-6	T2021-002	在来軸組木造住宅の壁長に関する検討	山田耕司 (豊田高専)
C-3-7	T2021-071	GAN による模倣画像を用いた地震時建物被害判定のための CNN の構築	◎山田晴香 (東京理科大学)

C-4 10:00-12:00 1st of December

免震・制振・ヘルスマモニタリング, 地盤と構造物の相互作用 Base isolation/structural control/health monitoring, Soil-structure interaction

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-4-1	T2021-007	震動台の回転の影響を受けた実大 4 層の RC 造建物の振動特性と層パラメタの評価	安井譲 (早稲田大学理工学研究所)
C-4-2	T2021-038	静的非線形解析に基づく免震改修した不整形建築物の最大応答の推定	◎増田卓実 (千葉工業大学)
C-4-3	T2021-061	断層近傍地震動を模擬したダブルインパルスに対する中間層免震建物の弾塑性極限応答	◎川端佑弥 (京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科建築学専攻)
C-4-4	T2021-064	滑り基礎構造を適用した 2 層木造軸組の実大振動台加振実験	◎富田愛 (東京理科大学大学院)
C-4-5	T2021-067	中間階免震建物のデータベースの構築と設計動向の調査	◎白井貴裕 (明治大学大学院理工学研究科)
C-4-6	T2021-082	プレストレスで支持材を補強したオイルダンパー木質制振壁の開発研究～ブレースに LVL を用いた制振壁の力学的挙動の把握～	◎坂本遼 (名城大学理工学部建築学専攻)
C-4-7	T2021-027	常時微動と解析に基づく傾斜基盤を有する地盤上に建つ免震建物への入力地震動の上下動特性	◎坂出潤弥 (東京理科大学)

C-5 13:40-15:40 1st of December

地震被害調査, 復興計画, 津波・歴史地震 Recent earthquakes, Reconstruction,
Tsunami/historical earthquake

Chairperson:

Slot No.	Paper No.	Title	Presenter
C-5-1	T2021-033	コジャエリ地震等における地下水の噴出による傾斜地盤の滑りや流動	安田進 (東京電機大学)
C-5-2	T2021-001	1923(大正 12) 年関東大震災後の帝都復興事業に学ぶー現代東京はなぜ首都直下地震に怯えなければならないのか？	武村雅之 (名古屋大学 減災連携研究センター)
C-5-3	T2021-019	1662 年日向灘地震における供養碑及び歴史的資産に関する研究	大角恒雄 (国立研究開発 法人 防災科学技術研 究所)
C-5-4	T2021-014	日本全国を対象とした最大加速度の確率論的地震動ハザード評価	宮腰淳一 (株式会社大崎 総合研究所)
C-5-5	T2021-025	重錘形圧力天びんによる圧力計のドリフト特性に関する室内実験	松本浩幸 (国立研究開発 法人海洋研究開発機構)
C-5-6	T2021-089	連立構面に作用する津波波力に関する解析的研究	◎豊田琢也 (東京都立大 学都市環境科学研究科)
C-5-7	T2021-095	福井県高浜町菌部地区を対象とする津波シミュレーション	大堀道広 (福井大学附属 国際原子力工学研究所)